

神経心理検査

(Alzheimer's Disease Assessment Scale 認知機能下位検査日本版)

の導入及び実施

第 1.0 版

1. 目的

- 本手順書は、Alzheimer's Disease Assessment Scale 認知機能下位検査（以下、ADAS-J cog.）を施行するに当たり、本検査が適切に施行されるよう、その標準的な手順を示すものである。

• 2. 適用範囲

- ADAS-J cog.施行に関する業務。

• 3. ADAS-J cog.の概要

- ADAS は 1983 年に米国のモースらが認知機能の変化の評価を目的として開発した、認知機能検査法である。
- 本尺度はアルツハイマー型認知症にみられる認知機能障害がおもに記憶、言語および行為の 3 領域にみられると仮定し、認知機能下位尺度（ADAS-cog.）と非認知機能下位尺度（ADAS-non cog.）の 2 つの下位尺度から構成されているが、ADAS-cog.のみが独立した認知機能検査として用いられることが多い。
- ADAS-J cog.では単語再生、口頭言語能力、言語の聴覚的理解、自発話における喚語困難、口頭命令に従う、手指および物品呼称、構成行為、観念運動、見当識、単語再認、テスト教示の再生能力の 11 項目により構成されている。合計得点は 0～70 点であり、失点方式のため得点が高い程、障害の程度も高くなるものである。

• 4. 導入実施手順

- (1)対象者
- 高齢者。（主にアルツハイマー型認知症患者）
-
- (2) 施行時間
- 40 分程度。

• 5. 検査方法

- 下記をご参照下さい
- Alzheimer's Disease Assessment Scale 認知機能下位検査（ADAS-J cog.）実施採点マニュアル
- Alzheimer's Disease Assessment Scale 認知機能下位検査（ADAS-J cog.）検査用紙

• 6. 作成・改訂の履歴

版数	日付	作成/改訂	改訂理由	作成/改訂者

*実施採点マニュアル、検査用紙をご覧になりたい方は認知症臨床研究・治験ネットワーク事務局 (Email:crndinfo@ncgg.go.jp) までご連絡下さい。